平成 28 年度

伊仙町企業版ふるさと納税
「子宝日本一の町へ学習支援センターを」
報　告　書

平成 28 年度
伊仙町企業版ふるさと納税
「子宝日本一の伊仙町へ学習支援センターを」
報　告　書

１．寄付者の皆様へ

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。かねてより伊仙町政に対しては、ご支援とご協力を頂き誠にありがとうございます。

伊仙町では、平成 28 年度から「子宝日本一の伊仙町へ学習支援センターを」の事業名で国からの採択を受け、企業版ふるさと納税の形で寄付を募らせて頂きました。みなさまのご協力のおかげで初年度 6 社の方々から 1,200,000 円の寄付金を頂き、「いせん寺子屋」運用の形で子供達への地元学、キャリア教育、そして東大生との遠隔ネット授業に活用させて頂きましたので、ここにご報告させて頂きたく存じます。

伊仙町では、今後も学習支援センターを内包した生涯学習センターの創設に向けて、寄付者の皆様や住民の皆様のご意見を反映させた、賑わいの空間づくりを行っていきたいと思っています。

今後も「企業版ふるさと納税」制度の意義をご理解いただき、伊仙町へのご支援とご協力を頂けますよう、お願い申し上げます。改めまして、ありがとうございました。

平成 29 年 7 月

伊仙町長　大久保　明

＊表紙写真：平成 28 年度「いせん寺子屋」でのソーラーパネル製作の様子

２．ご寄附の概要

●平成 28 年度の寄付実績

企業数：　６件　　寄附総額：　１，２００，０００円

●寄付者一覧

貴重なお志を、ありがとうございました。

企　業　名	代表取締役氏名	所在地
ワイテック株式会社	義永　隆行　様	大阪府
株式会社　栄電社	満石　公一　様	鹿児島県
株式会社　武大	米田　新助　様	大阪府
有限会社　三協貿易	岩垣　いそ子様	大阪府
医療法人こやなぎ内科循環器科クリニック	小柳　毅　　様	佐賀県
株式会社　エムケイテック	清水　光宏　様	東京都

３．事業の目的と内容

本事業は、内閣府による「まち・ひと・しごと創生寄付活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例」に基づいて伊仙町が事業申請したもので、以下にその目的と内容を抜粋します。

（目的）

伊仙町は合計特殊出生率日本一を誇り、多くの子供たちを生み育てる地域力は、現在少子化が進む日本全体の中で際立っている。しかし幼少期の子供たちの成育を支える人と人とのつながりも、学童期に入ると学校教育へ一任され、民間の学習塾は1軒存在するものの、高校生になると課外で教わる場所はなくなってしまう。特に放課後や長期休業期間に子供たちが学習できるスペースは、この学習塾に通う以外町内には存在せず、学習支援体制は十分とは言えない。

近年ではそのような状況を避けて、高校進学のみならず中学進学から親元を離れ進学校へ進む生徒も出現してきており、小学校卒業と同時に寮生活となり、早すぎる親離れ、子離れをせざるを得ない世帯も出てきている。

類稀な地域力や子育て力をもつ徳之島に生まれたとしても、10代前半までし

かその土地で育たなかった場合、郷土を思い郷土のために還元しようとする心は育ちにくく、単なる優秀な人材の流出となってしまう。

　また、地方への人の流れを標榜する伊仙町にとって、移住希望者の数は年々増えているものの、子育て世代にとっての懸念はやはり教育水　準であり、その面で移住を躊躇する世帯も見受けられる。本事業ではこのような現状を打破するための学習支援センターと図書館複合施設を整備し、本町で育つ子供達の学習支援をバックアップし、将来的に島の未来を担う人材の育成を目指す。公教育の学習定着をはかるためにも、個別の指導が必要な生徒、あるいは島にいながらにして、興味のある分野に関して特化して学習したい生徒など、よりきめ細かい子供たちのニーズにこたえられる支援体制を確立する。

このように移住を希望する子育て世帯へも、アピールできる施設と学習支援機能を創出することで、伊仙町への人の流れをさらに加速させ、かつ島内からの有望な若年層の流出を食い止めることを目指す。

（内容）
　伊仙町内にある既存公共施設を用い、学習支援センター図書館機能を持つ施設整備を行う。またその運営にかかる維持費と蔵書費用を本事業にて充てる。具体的には、下記の事業を実施する。

・計画策定
・ＩＣＴ教育推進事業：デジタル教材や視聴覚機材の導入
・情報教育環境整備：生徒・教員用のパソコンを整備
・ブックスタート事業：未就学児向け読み聞かせや出張読み聞かせ
・英検・漢検助成：英検や漢検受験希望生徒への指導と旅費助成
・休日・長期休暇学習支援：土・日や長期休暇の学習や体験学習
・図書購入事業：図書館の図書購入
・図書館ネットワーク事業：島内、県内の図書貸出しシステム整備
・スタッフ養成事業：上記事業を推進するためのスタッフの雇用と養成
・施設整備：図書館・学習支援センターに必要な机やいす、書架、ロッカーなどの配置
・キッズスペース整備：子供達の集まる空間の整備

４．ご寄附の活用

頂いた寄付金は下記の使途で活用させて頂きましたので、ここにご報告します。

図書司書人件費	￥５５３，０００
東大ネットワーク授業料	￥９２４，５２０
計	￥１，４７７，５２０

●上記経費のうち　￥２７７，５２０円はその他寄附金と一般財源による

５．今後の予定

既存施設で行っている「いせん寺子屋」を継続し、子供達への人材育成を行うとともに、町有地や既存施設全体の有効活用も含めた利用検討会を通じて、生涯学習センターや周辺の賑わいゾーンの創出に向けて事業を行っていきます。今後とも本事業へのご理解とご協力をよろしくお願いします。

～　貴重なお志をありがとうございました　～

●現役東大生による大学受験生向けライブネット授業

● 国指定遺跡カムイヤキの復元現場を見せてもらいながら実物に触れて、徳之島の歴史に思いを馳せました。

●小学校 2 年生から高校 3 年生までが一緒に学ぶ「いせん寺子屋」。この春に巣立った高校 3 年生は「もっと早くに寺子屋ができていればよかったと思う」と感想を残していました。

お申込み・お問合せ

〒891－8293　鹿児島県大島郡伊仙町伊仙 1842

伊仙町役場　未来創生課　企業版ふるさと納税担当

TEL：0997－86－3111　　FAX：0997－86－2301

EMAIL：isencho@po.synapse.ne.jp